

令和7年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立矢口中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・鑑賞活動を増やし、自己の目標に対して客観的に制作することができた。
- ・欠席者に対して放課後補習を実施し全員が平等な作業時間をもつことができた。

(2) 課題

- ・発想がわからない生徒が作品を完成させることが困難である。
- ・意図的計画的に作業計画をたてることが困難な生徒が一部いる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事前の活動として、既習内容を復習し、技法を練習及び試作させ工夫できるよう指導する。 ワークシートに制作意図を明確に書かせる。技能を習得できるよう模範の技術を個別、又は全体に見せる。	制作前に丁寧に課題を説明し、参考図案を配布する。 制作に入る前にICTを利用して生徒作品等参考作品を複数見せる。 鑑賞で他者の価値観にふれ、自己の目標を明確にする。	制作手順と時間配分のプリントを配布する。 制作後に振り返りを行い、自らの学習を調整できるよう促す。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事前の活動として、既習内容を復習し、技法を練習及び試作させ工夫できるよう指導する。 ワークシートに制作意図を明確に書かせる。技能を習得できるよう模範の技術を個別、又は全体に見せる。	制作前に丁寧に課題を説明し、参考図案を配布する。 制作に入る前にICTを利用して生徒作品等参考作品を複数見せる。 鑑賞で他者の価値観にふれ、自己の目標を明確にする。	制作手順と時間配分のプリントを配布する。 制作後に振り返りを行い、自らの学習を調整できるよう促す。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事前の活動として、既習内容を復習し、技法を練習及び試作させ工夫できるよう指導する。 ワークシートに制作意図を明確に書かせる。技能を習得できるよう模範の技術を個別、又は全体に見せる。	制作前に丁寧に課題を説明し、参考図案を配布する。 制作に入る前にICTを利用して生徒作品等参考作品を複数見せる。 鑑賞で他者の価値観にふれ、自己の目標を明確にする。	制作手順と時間配分のプリントを配布する。 制作後に振り返りを行い、自らの学習を調整できるよう促す。